

海外生活 エッセー

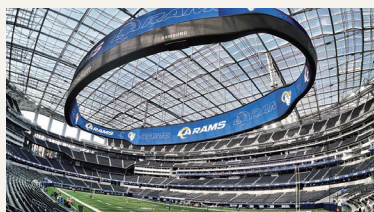
ニューヨーク事務所

全米最大のスポーツイベント「スーパーボウル」

(一財)自治体国際化協会ニューヨーク事務所 所長補佐 藤本 修平 (和歌山県派遣)

2月13日にカリフォルニア州イングルウッドのSoFi スタジアムで第56回スーパーボウルが開催されました。スーパーボウルとは、アメリカで一番人気のスポーツであるアメリカンフットボールのプロリーグ「ナショナルフットボールリーグ (NFL)」における優勝決定戦のことを言います。ちなみに、スーパーボウルは、ボール (Ball) ではなくボウル (Bowl) であり、諸説ありますが、試合を行うドームの形が容器のボウルに似ていることが名前の由来だそうです。

国民的スポーツの一大イベントであるスーパーボウルの経済効果は、メジャーリーグベースボール (MLB) やナショナルバスケットボールアソシエーション (NBA) を抑えてアメリカ国内でトップとなっています。私自身が学生時代に競技スポーツをやっていたこともあって、日本ではメジャースポーツとは言えないアメリカンフットボールが、アメリカではなぜここまで人気があるのかを探ってみました。



試合が行われた SoFi スタジアム

→ スポーツとしての魅力の追求

NFLは「スポーツの魅力とは最高のレベルで戦力の均衡したチームが繰り広げる競争状態である」という理念に基づいて活動を行っており、チーム毎の格差をできる限りなくすために、リーグの利益を分配する制度であるレベニュー・シェアリング (Revenue sharing) を採用しています。この制度は、以下の収益をリーグに所属する全チームに均等に分配し、収益による戦力格差をなくすことで、観る側がより楽しめるように配慮して考案されたものです。

- テレビ放映権料

- 入場料収入
※各試合における普通席の入場料収入の60%が全体の売上げとしてプールされ、



アメリカンフットボールの試合の様子

- 残りの40%は、ホームチームの収入となる。
- グッズ売上げ
- スポンサー収入

→ 熱狂的なハーフタイムショー

アメリカンフットボールは、15分4クォーター (全体の競技時間60分) で行われますが、ハーフタイムに著名なアーティストがショーを行います。スーパーボウルは、全米での視聴率が約40%にもものぼるため、試合そのものだけでなくハーフタイムショーも毎年大きな話題を集めます。驚くことに、アーティストの出演料は無償となっているそうです。

→ 文化的意義

スーパーボウルは、単に有名なスポーツイベントというよりは、アメリカの文化の一つになっていると感じています。スーパーボウルを見て、屈強な選手に憧れ、競技を始める子供たちもいれば、観戦がきっかけとなって健康のためにスポーツを行う人も多いことでしょう。また、その経済効果からも、スポーツ業界だけでなく、国としての活力となっていることは言うまでもありません。一つの国全体がこれほどまでに熱狂するイベントであるスーパーボウルは、もはやアメリカにとってなくてはならない存在であり、その存在こそがスポーツ大国と言われるアメリカの一翼を担っているのだと感じました。